

商店街名:安城中央商店街連盟

【花ノ木商店街振興組合、朝日町商店街振興組合、御幸商店街振興組合、本通り商店街振興組合、安城セントラル商店街振興組合】

●キャッチコピー

「わざわざ訪れたいくなるまちなか」へのチャレンジ

●活性化モデル商店街としてのモデル性

サンクスフェスティバルを軸とした、にぎわい創出とコミュニティ構築

◎商店街の将来ビジョン

安城中央商店街連盟区域は安城市の中心市街地160ha内に存在する5商店街振興組合の連合体であり、地区としてはJR安城駅から東西南に位置する花ノ木、朝日町、御幸、本通り、安城セントラル商店街振興組合で形成され、旧来から安城市の顔となる商業の集積する区域である。

大規模小売店舗立地法の施行以後、大型商業施設が郊外に出店され始めると次第に「まち」の元気が無くなり、総合病院の郊外移転、総合スーパーの退店によりシャッターを閉めた店舗も増え疲弊しつつある状況である。

しかし、市施行で区画整理事業を行い、今後の人口増加も見込まれる地域であり、商店街が担う役割は重要になっている。平成23年度には「安城市中心市街地活性化基本計画」を策定し、日常的な賑わいづくり、ほかにはないこだわりのある商店街づくり、「環境首都」に相応しい環境にやさしいまちづくりを基調として、中心市街地の活性化を進めている。

- 1 多くの人が商店街を訪れ、「まち」の使い方を学ぶ
- 2 各個店が「ファン(リピーター)」の育成に取り組む

◎具体的に取組む事業内容

○安城サンクスフェスティバル(24年度～27年度)

中心市街地を市民みんなの「活動の場」として行うイベント事業の開催。「弁当良いとこ見つけまSHOW」、路上ライブ、サンクスツアーの実施

○まちの教室(24年度～27年度)

店主が講師となり講座を開催

○Akind(24年度～27年度)

まちなか情報発信誌発行

○キーボー市場(24年度～27年度)

中心市街地交流広場を中心に月一回開催するまちなか産直市に併せ、商店街への回遊性を高めるため、同日商店街においてもバザーを実施

○ご当地アイドル(24年度～27年度)

キーボー市場、サンクスフェスティバル等イベントの有効なPRを実施

○市民モニター「まちガール」(24年度～27年度)

公募の市民モニターによる点検、魅力抽出、改善案の提案を行い、「まちガール認定店」を選定